



立川に働きやすい 職場を増やそう!

第1回立川「ワーク・ライフ・バランス推進事業所」
認定式開催

仕事も充実!プライベートな時間も充実!そんな従業員を増やそうと努力している4事業所が、立川市初の「ワーク・ライフ・バランス推進事業所」に認定されました。

今回認定を受けた事業所は、富士ゼロックス多摩(株)、医療法人財団立川中央病院、国家公務員共済組合連合会立川病院、(株)アドックインターナショナルの4事業所。

6月22日、立川市女性総合センター・アイムの1階ホールで行われた認定式には、市長も出席し、この事業の意義について並々ならぬ意欲を表明しました。この認定制度はワーク・ライフ・バランスを推進する事業所を立川市内に増やそうと、立川市が今年度から独自に始めたものです。

4事業所は、「優秀な従業員を確保したい」「ひとりひとりの従業員に満足してほしい」「国の呼びかけにこたえて」など、ワーク・ライフ・バランス改善に向けて動き出したきっかけは様々でしたが、厳しい経済情勢の中、従業員のニーズに合わせた取り組みを展開しており(2面参照)、認定式後の事業所発表では、会場から大きな拍手が聞かれました。

この認定式に先立ち、2012年東京都ワーク・ライフ・バランス認定企業となった(株)キャリア・マムの代表取締役堤香苗さんが講演。しなやかで強い企業を作るには、様々な個性や経験と顧客目線も併せ持つ従業員が必要であるとして、そのためのノウハウ、女性従業員のライフステージに応じた労働環境の工夫など具体的に提案されました。

超少子高齢社会の課題を解決するキーワードの一つが「ワーク・ライフ・バランス」です。市の認定制度が契機となって、女性も男性も働きやすい職場が増えてほしいものです。

第4回たちかわ男女平等
フォーラム、
力を合わせて
しなやかに前へ

じょしりよく だんしりよく
女資力・男資力
満員御礼!

バルーンアートの飾りつけが華やかさを添える中、第4回たちかわ男女平等フォーラムが、6月18日(月)～6月24日(日)まで開催されました。



▲樋口恵子さん講演会。エネルギッシュな講演に客席いっぱい参加者も引き込まれ、ホールが熱気と感動に包まれました。

まずはブレ企画と銘打って、アイム登録団体が事前にその思いと情熱を傾けて企画した講座が6つ。活気あふれる滑り出しでした。



▲ポスター展「ポスターに見るノルウェーの女性、日本の女性」後援：ノルウェー王国大使館、協力：女性就業支援センター

6月23日、いよいよメイン企画が始まりました。午前に行われた講演会は、講師の樋口恵子さんが「ハッピーばあさん・ハッピーじいさん」女も男も豊かに生きる」と題して講演。「平均寿命が80歳を越える現代に生きる高齢者は、百歳までの人生設計を持ち、若い頃のような達成志向ばかりではなく人類の平和に寄与するような夢を持つ」と呼びかけられました。そして自身の男女平等社会実現をめざして歩んだ半生を振り返り、正しい夢であれば必ず若い人がついてくるし、その夢は若い人たちの最大のプレゼントになると語り、ホールを埋め尽くした人たちは、大きな感動に包まれました。

同日午後からは、多くの人たちの多様なニーズをキャッチしようとして、3つのグループトークが開かれました。女性政策研究家の三井マリ子さんのギャラリートーク「ポスターに見るノルウェーの女性、日本の女性」、「3・11以降の子育てについて話し合いませんか」、「生涯現役

!これからの時間をどう過ごしますか」の3つ。いずれの会場もさまざまな年齢の女性、男性が集い、活発に意見を交わしました。「女資力・男資力」力を合わせてしなやかに前へ」が着実に進んでいることを実感させるフォーラムでした。

第1回立川市ワーク・ライフ・バランス認定事業所の取り組み紹介 1面参照

現 実 的な工夫で働きやすい職場を実現

有給休暇と社会貢献で従業員の満足度アップ

株式会社アドックインターナショナル

■具体的な取り組み

- ①アニバーサリー休暇の設置
- ②年に数日（2～4日）、推進日を設けて有給休暇の取得を推奨
- ③地域行事に協力・参加

■担当者からのコメント

私たちは典型的なITの会社です。個々で端末に向かう作業が多いことから、従業員同士のつながりを持ちづらく、数年前にはメンタル不調が原因で休職してしまう従業員がたくさんありました。

そこで、従業員一人ひとりがON・OFFの上手な切り替えができることの重要性を感じ、「有休取得推進日」や特別休暇である連続する4日間の「フリー・バケーション休暇」等、有給休暇取得と大型連休の容易な取得のための制度を設けました。

その他では、会社施設が所在する日の出町での自治会活動参加を行っています。この活動は、地域の人々に喜ばれ「ありがとう」とお礼を言っていたり、活動する従業員の充実感にもつながっています。これらの取り組みを通じ、うつ病患者が激減するなど、思った以上の効果があがりました。

次世代育成に関する社内HPや「イクメンの星」(イクメン社員の紹介)配信などで育児がしやすい職場づくりを

富士ゼロックス多摩株式会社

■具体的な取り組み

- ①育児支援に向けた職場環境の整備
 - ・制度の再周知・スムーズな職場復帰支援
 - ・男性社員が育児休職を取得しやすい職場風土づくり
- ②所定外労働の削減（ノー残業デー等）と有給休暇取得の促進（ハッピー休暇等）
- ③ワーク・ライフ・バランスの推進
 - ・ワーク・ライフ・バランスNavi(社内HP)の開設
 - ・「イクメンの星」「WLBニュース」の発行

■担当者からのコメント

仕事と育児、または仕事以外の生活との調和が図れ、個々の能力を十分発揮できる職場環境づくりを目指し、2ヵ年計画に基づいて活動しています。現在1年半が過ぎ、育児に関する制度を利用する男性社員が少しずつ出てきました。今後もワーク・ライフ・バランスの意識が社内により定着していくよう、促進活動を続けていきたいと思っています。

従業員の声を聞きながら働きやすさを実現・24時間体制の院内保育所を新規建て替え

医療法人財団立川中央病院

■具体的な取り組み

- ①院内保育所を新規に建て替え、保育環境を改善
- ②24時間体制の保育を実施

■担当者からのコメント

院内保育所を新しく建て替え、充実させました。おかげで従業員がより一層安心して働けるようになりました。保育所では一時預かりも実施しており、業務上やむを得ない残業にも対応できています。また育児中の職員の申し出に応じ、夜勤免除も実施するなど、子育てと仕事が両立するよう支援しています。

ボランティア休暇や地域社会への貢献を援助・院内保育も充実

国家公務員共済組合連合会立川病院

■具体的な取り組み

- ①ボランティア休暇、地域社会への貢献に対する援助
- ②院内保育室の設置（2009年より）
- ③セクシュアル・パワーハラスメント相談窓口の設置
- ④院内・院外研修の充実
- ⑤長時間労働の抑制に向けた産業医による面談

■担当者からのコメント

院内保育施設は敷地内に併設されており、子どもを預けながらでも安心して働けると利用者から好評を得ています。また、ボランティア休暇や地域社会への貢献にも力を注いでいます。昨年は東日本大震災救援のため、ボランティアの医師や看護師、薬剤師を派遣してきました。個人的に被災地にボランティアに行く職員にも特別休暇などで便宜を図っています。また、研修も院外、院内にかかわらず積極的に薦めており、それらの取り組みによって、個々の職員の満足とやる気を引き出しています。今後は男性の育児参加を更に進める予定です。

第1回認定事業所となった4つの事業所はいずれも、従業員の方々の現状に寄り添って、様々な工夫をしながらワーク・ライフ・バランスを推進しています。事業所の支援により、従業員の方々も、ご自身の持てる力を十分に発揮し、安心して働き続けることができ、それが事業成果にも反映されています。市内の他の事業所でもどんどん参考にしてい取り入れてほしいですし、その事業所ならではの独自の取り組みを展開してほしいですね。そして、是非、第2回の認定制度にご応募ください。市では、今後も認定事業所の取り組みを紹介していきます。多数のご応募をお待ちしております。

立川市長 清水庄平

女性が男性の2倍？!

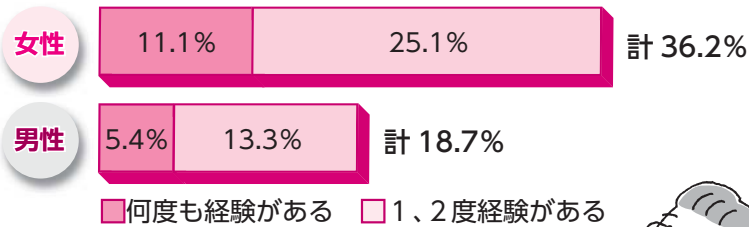
わ!

配偶者から暴力を受けたことがある人の割合

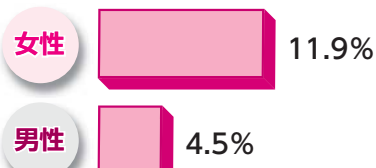
「男女間における暴力に関する調査」(立川市実施)の結果から

夫婦や恋人などの親密な男女の間で起きる暴力行為は、「配偶者等からの暴力」(DV)と呼ばれています。こうした「男女間における暴力」の実態を把握し、防止や被害者の支援に生かそうと、立川市では昨年の7月～8月に20歳以上の立川市民2000人を対象にアンケート調査を実施しました。(有効回答数 女性47、男性30) その結果が今年1月にまとまりました。

配偶者から暴力を受けた経験がある人は？



交際相手から暴力を受けた経験がある人は？



※「暴力」には身体的、精神的、性的暴力を含む。

「男女間における暴力に関する調査」(立川市・平成24年度版) 報告書より



女性の3人に1人がDV被害の経験者？
 A子 昨年の夏「男女間の暴力」に関して、立川市が調査して、その結果が報告書としてまとまったそうよ。
 B子 ヘーエ知らなかった。どんなことが書いてあるの？
 A子 それがなかなか興味シンシン。たとえば、一度でも配

偶者から「身体に暴力を受けたことがある」と答えた女性は、女性全体の23.3%。同様に「暴言等で精神的な嫌がらせを受けた」女性が18.9%、「性的な行為を強要された」女性は19.9%という結果になったの。それらの被害全体で見ると、36.2%が何らかの暴力を配偶者から受けたことがあるという結果だったの

偶者から「身体的な暴力を受けた」という人は15.4%、「暴言等で精神的な嫌がらせを受けた」人が10%、「性的な行為を強要された」人が17%、被害全体で見ると18.7%が配偶者から何らかの暴力を受けたと感じているね。
 B子 なるほど。でも被害体験者の割合は女性のほうが2倍くらい多いわね。

20代女性の19.4%がデートDVの被害にあっている
 A子 先日駐輪場で、若い女の子が交際相手にたたかれていたのを見てしまった。
 B子 先日は、それは大変な場面だったね。今回の調査は、配偶者との関係ばかりではなく交際相手との関係も調べていて、それによると20代の女性で交際相手から暴力を受けたことがある人が19.4%もいるんですね。
 B子 私だったら暴力を振るわれたら一緒にいられないわ。好きな人を殴るなんて信じられないわ。愛情があれば暴力なんて生まれないはず。
 A子 ところが相手からの暴力や暴言も、「私のこと思ってくれてるんだ」「自分に落ち度があるのでは」と勘違いしてしまっている。愛は時に「人を盲目にする」のよ。

相談窓口

- DV相談ナビ(内閣府) 0570(0)52610
- 立川市女性相談 042(523)2111 月～金 8:30～17:00 内線1578
- 立川市女性総合センター・アイム(正午から13:00を除く) 042(528)68001 カウンセリング相談・要予約
- 東京都女性相談センター・多摩支所 042(522)4232 月～金 9:00～16:00 (土、祝日、年末年始を除く)
- 東京ウィメンズプラザ(東京都) 03(5466)2455 9:00～21:00 (年末年始を除く毎日)
- 火・水・土 13:00～17:00 (土曜日は電話相談のみ)

アンケート自由記述欄より

- 結婚する予定でしたが、相手の暴言「よく考えてから話せ」おれの家族を何だと思ってるんだ」など……とても傷つき婚姻解消し別れました。(中略)身体的暴力ほど危機感はありませんが、言葉による暴力で、人としての尊厳を傷つける精神的暴力も周知され、対策が得られるようになることを望みます。(女性/30代)
- 子ども3人を養育する上で耐えてきました。やがて子どもが結婚し孫ができて、家族を持つようになって安らぎの場をなくしてはとまた我慢の連続でした。(後略)(女性/60代)
- 私はDVの両親(加害者父親)という環境に育っています。そのため大声でなられたり暴力的
- 難しい問題だと思います。でも大切な命がなくなったりするニュースを見るととても悲しいです。(中略)暴力、虐待がなくなる日が来ると思いますね。(女性/40代)
- Eメールで相談ができるように。(男性/20代)
- 暴力を受けた場合の相談窓口がたくさんあることを今回のアンケートで初めて知りました。もっとPRしていただけたらよいのでは。(後略)(女性/60代)
- よく言われることだと思いますが、一人で悩まない、悩ませない地域づくりが必要だと思います。(後略)(男性/40代)



アイムインフォメーション

お問い合わせは、女性総合センターへ
☎ 042-528-6801

男女平等参画課 11月～3月(予定)の事業

男女平等参画社会を実現するため、さまざまな事業を実施しています。
くわしくは、「広報たちかわ」市ホームページか女性総合センターへ。

11月は女性に対する暴力防止月間関連展

- 男女平等参画課では、次の事業を行います。
- 心に響かせるDV（ドメスティック・バイオレンス）根絶パネル展
日時：11月12日(月)～18日(日)午前9時～午後5時
会場：立川市役所1階多目的プラザ
 - あるコピーライターの伝え方
日時：11月13日(火)午後2時～4時
 - 女性のための護身術「WEN-DO」
日時：12月15日(土)午後1時30分～4時30分

- お母さんのための面接対策セミナー「面接ワンポイントアドバイスとロールプレイ」
日時：11月21日(水)午後1時～3時30分
共催：ハローワーク立川マザーズコーナー
- 「よくわかる！パートタイム労働」働くとき・雇うときand相談会
①11月19日(月)午後2時30分～4時30分
②11月20日(火)午後1時30分～4時30分
会場：国分寺労政会館
共催：東京都労働相談情報センター国分寺事務所・東京しごとセンター多摩他

- 市民企画活動事業「婚活詐欺事件から見える社会～なぜ男たちは彼女を求め、なにを彼女は男たちに求めたのか？」
日時：12月9日(日)午後1時30分～3時30分
企画運営：女性の視点を活かす会・アエネ

- 市民企画活動事業「講談で聴く男女共生」
日時：平成25年1月12日(土)
企画運営：立川シティクラブ
- アサーティブトレーニング
日時：2月26日、3月5日・12日(火)午前10時～正午
- イクメン講座～パパ同士で語ろう！
対象は父親・これから父親になる方（保育あり・要予約）。

テーマ	日時・会場
子育て×IT	11月21日(水) 午後7時30分～9時
1日たったの30分! !?ぼくの家事シェアリング	12月8日(土) 午前10時～正午 砂川学習館・夫婦参加可
ライフイベント表 で我が家のお金を考える	1月23日(水)・2月20日(水) 午後7時30分～9時
パパと赤ちゃんが もっと仲良くなる ベビーマッサージ	2月2日(土) 午前10時～正午

●留学された動機は？
偶然、友人と行ったレストランで「イタリア料理留学」のチラシを見て、ふっと心が動いたのです。
実は子育てが一段落した40歳過ぎから、テレビ番組の裏方で料理を作る会社で働いており、イタリア料理自体にまず興味がありました。

また結婚したての20代に、夫とカナダで9カ月間生活して、海外生活の面白さにハマった経験があり、機会があったら外国でもう一度生活したいと思っていました。フリーに転向し、時間に融通がきくようになっていたことなどの条件が重なりました。働いてきたので、留学資金を自前で用意できる強みもありました。

●留学中の生活は？
最初の2カ月間は、午前中はイタリア語、午後は調理を学校で学びました。その後は現地レストランでの実地研修が組まれていました。研修先はパロマ近くのコレッキオにあるレストランです。ナポレオンの2番目の妻の別荘を改装した建物という古い由緒があるお店でした。
その店をシェフふたりと私も含めて見習いふたりで切り盛りするのですが、休日にはパティイなども多く、そんな日は昼の休み時間も取れないほどの忙しさでした。

●留学には自由な夫婦のあり方も関係ありそうですね
夫は趣味が多い自由人です。子どもたちが小中学生の頃、母屋を自分で建て替えたいと言い出し、家族総出で1年半かかって完成させたことがありました。その頃は私も専業主婦として、子育てと家事でめいっぱい充実していました。

私が料理の仕事を始めた2年後に夫が単身赴任し、必要に迫られて通勤にも子どもたちの通学にも便利な立川でマンションを夫と折半で購入し、生活を始めるようになりました。それ以来夫とは別居で暮らしていますが、決して仲が悪いわけではなく、



飯田み小枝さん

40歳を機に料理を基礎から学び、テレビ番組の料理制作に携わる。現在フリーのフードコーディネーター。

唯一心配だったのは定期的に訪問していた義母のケアですが、留学中は私に代わって夫に訪問してもらい、留学コースを1年ではなく半年にすることでクリアし、62歳でイタリアに留学しました。

自由な夫との生活で自立した女性に
残念だったのは、イタリア語の習得が思うようにいかなかったこと。14人いた日本人留学生の大半が20代で、みんな日に日に上達していくのですが、でも断トツ年長の私も、遊びや食事の仲間に入れてもらい留学生生活を満喫しました。

●留学には自由な夫婦のあり方も関係ありそうですね
夫は趣味が多い自由人です。子どもたちが小中学生の頃、母屋を自分で建て替えたいと言い出し、家族総出で1年半かかって完成させたことがありました。その頃は私も専業主婦として、子育てと家事でめいっぱい充実していました。

彼が多趣味で人づきあいが良かったことで、私の人生の色合いが豊かになりましたし、どんな料理も「おいしい」と喜んで食べてくれたことが、料理の道に進むきっかけになりました。今、夫は無人だった自宅に戻り、喫茶室を開いたりヨガ教室を始めたり、彼らしい生活をエンジョイしています。

第2回

立川市ワーク・ライフ・バランス推進事業所

募集締切 平成25年1月31日(木)

市では、ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）推進に積極的に取り組む市内の事業所を認定します。
認定されると認定証を交付するほか、事業所の取り組みについて

市ホームページや情報紙等で広く紹介します。
応募条件 ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）推進に関する取り組みを積極的に行い、その成果を上げている市内事業所

及び企業。
応募方法 くわしくは市ホームページhttp://www.city.tachikawa.lg.jp/cms-sypher/www/info/detail.jsp?id=7880をご覧ください。

※会場の記載のない事業は、女性総合センターで行います。

情報紙「アイム（No.30）」の企画・編集
〔市民編集委員〕鈴木 洋子・武江 敏江
〔助言者〕原 和美
〔カット〕玉井 公子
次号（No.31）は平成25年11月10日発行予定です。